

資料 No.3

在宅医療・介護連携推進事業について

厚生労働省老健局老人保健課

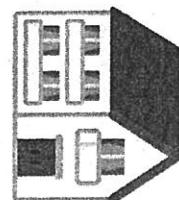
厚生労働省 在宅医療・介護連携推進支援事業 在宅医療・介護連携推進事業 都道府県担当者会議(H21.3.15)	資料1
--	-----

地域包括ケアシステム（在宅医療・介護連携）の推進

自宅で最期を迎えることを希望する人は半数を超える、延命のみを目的とした医療は行わざ自然にまかせることを希望する人は9割を超える（H24高齢者の健康に関する意識調査、内閣府）。しかし、いずれも希望どおりになつていらない現状がある。そのため、誰もが人生の最期を希望どおりに迎えるためには、在宅療養を支える医療・介護関係者の一層の連携が重要となる。

- 入院前から退院後までの状態を把握しているかかりつけ医がいる
- 退院後すぐに必要なサービスが導入される

在宅⇒病院のスムーズな移行



- 在宅療養をサポートする基盤があり、関係者どうしのつながりが緊密
- データ分析や医療機関との連携といった役割を都道府県が積極的に担い、市町村の後方支援をする

在宅医療・介護の体制・その他

急変時の冷静な対応

- 緊急に入院が必要と判断した場合に地域の受入れ可能な病床にスムーズに入院できる

- 自宅のみならず、高齢者施設等での看取りなど、「病院での死」以外の選択が自由にできる
- 不必要な救急搬送、望まない延命治療につなげない
- 平常時から看取りについて本人と家族が話し合いACPを準備している

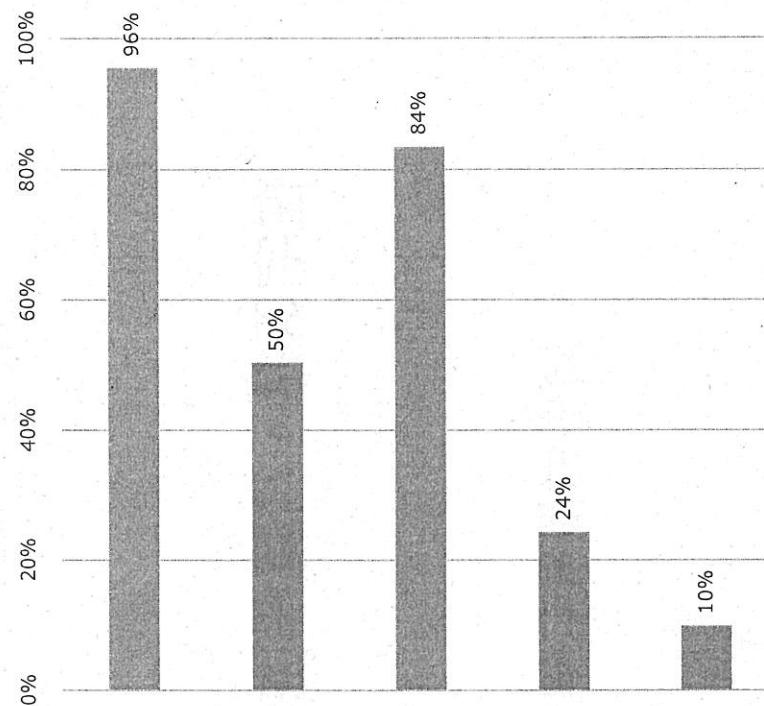
「病院での死」以外の看取り

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域における医療・介護

の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供することが重要

在宅医療・介護連携推進事業の事業項目別の進捗状況①(n=1,734 複数回答)

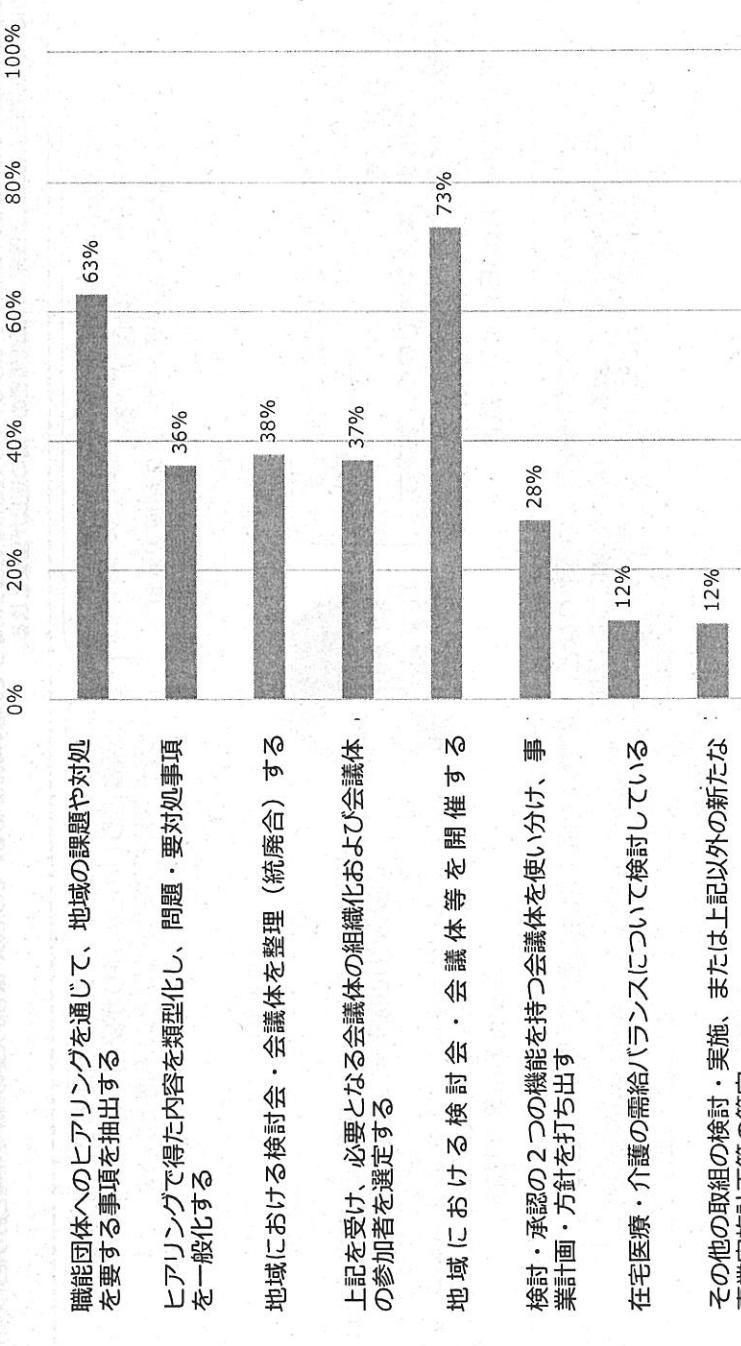
(ア) 地域の医療・介護の資源の把握



出典 地域包括ケアシステムにおける在宅医療・介護連携推進事業のあり方に関する調査研究事業 (速報値)
(平成30年度老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業 野村総合研究所) 8

在宅医療・介護連携推進事業の事業項目別の進捗状況②(n=1,734 複数回答)

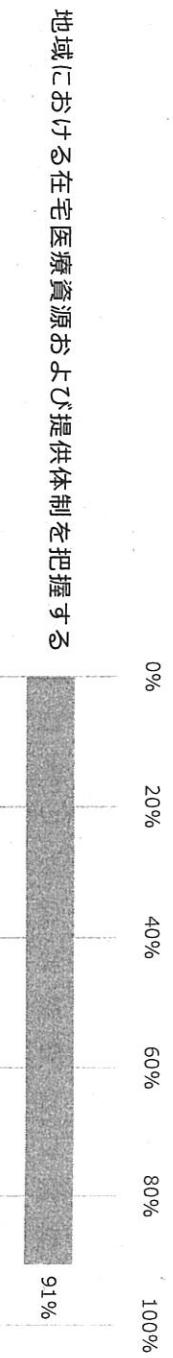
(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討



出典 地域包括ケアシステムにおける在宅医療・介護連携推進事業のあり方に関する調査研究事業 (速報値)
(平成30年度老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業 野村総合研究所) 9

在宅医療・介護連携推進事業の事業項目別の進捗状況④(n=1,734 複数回答)

(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進



実行が伴う切れ目のない在宅医療・介護の提供体制のあり方を地域の医療・介護関係者と検討・調整する

具体的な体制の整備に向けた調整や施策運用時のルールを策定する



出典 地域包括ケアシステムにおける在宅医療・介護連携推進事業のあり方にに関する調査研究事業（速報値）(平成30年度老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業 野村総合研究所)

10

在宅医療・介護連携推進事業の事業項目別の進捗状況④(n=1,734 複数回答)

(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援



既存の連携ツールやルールの整理・新規に作成が必要なツールやルールの整理および導入是非の検討

ツールやルールの新規作成・改修

新規作成・改修したツールやルールの関係団体内での周知徹底

定期的な利用実態のモニタリングおよびツールやルールの運用状況の把握

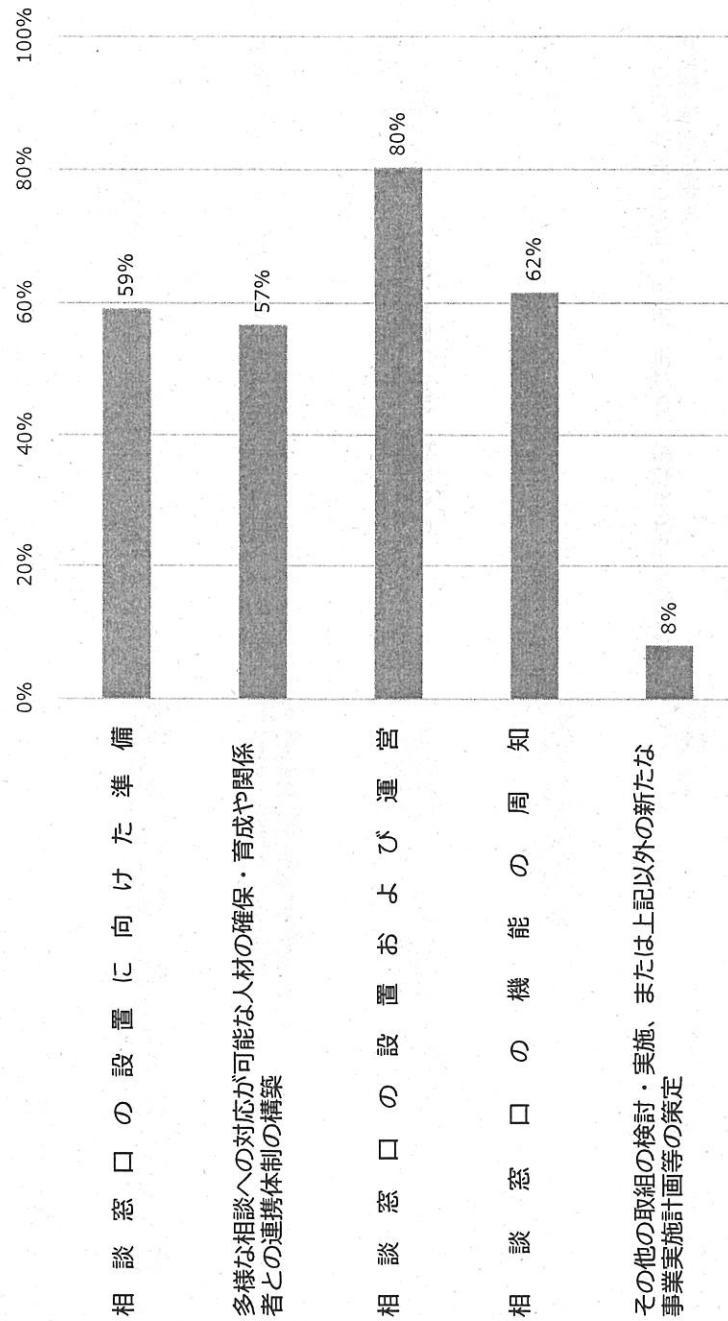
その他の取組の検討・実施、または上記以外の新たな事業実施計画等の策定

出典 地域包括ケアシステムにおける在宅医療・介護連携推進事業のあり方にに関する調査研究事業（速報値）(平成30年度老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業 野村総合研究所)

11

在宅医療・介護連携推進事業の事業項目別の進捗状況⑤(n=1,734 複数回答)

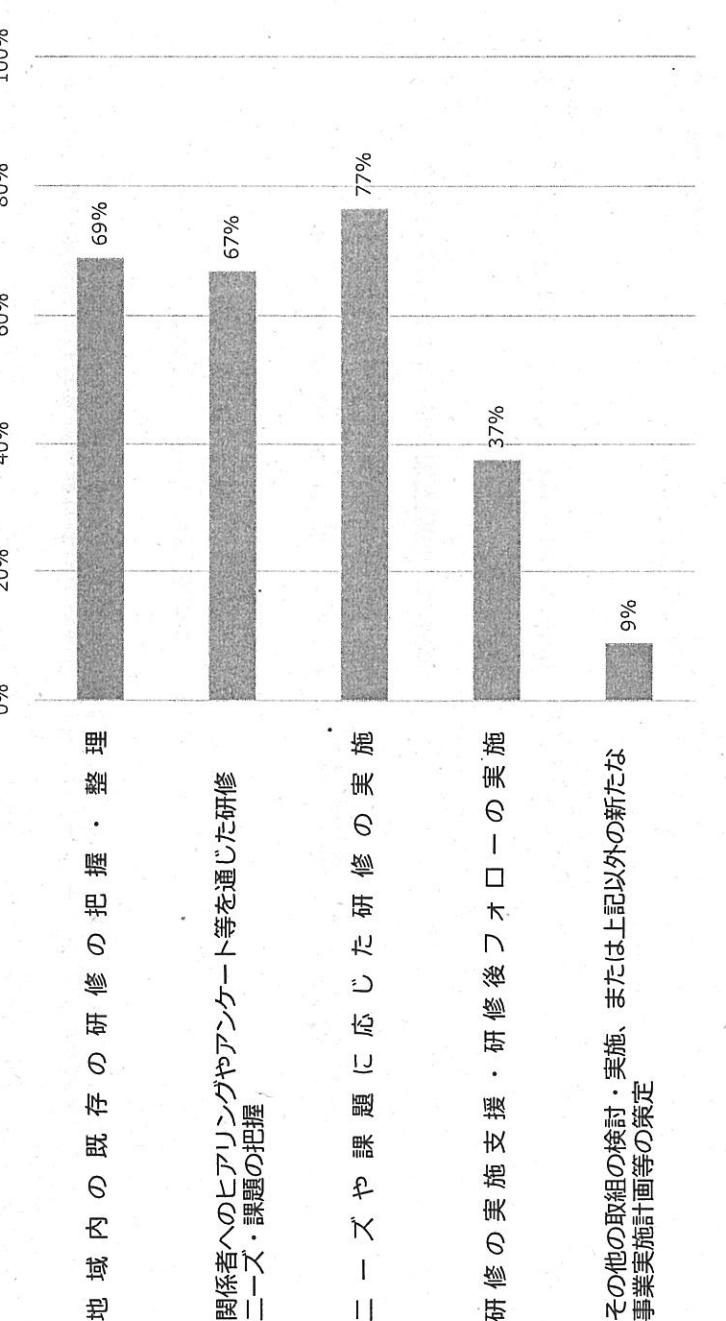
(オ) 在宅医療・介護連携関係者に関する相談支援



出典 地域包括ケアシステムにおける在宅医療・介護連携推進事業のあり方に関する調査研究事業 (速報値)
(平成30年度老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業 野村総合研究所) 12

在宅医療・介護連携推進事業の事業項目別の進捗状況⑥(n=1,734 複数回答)

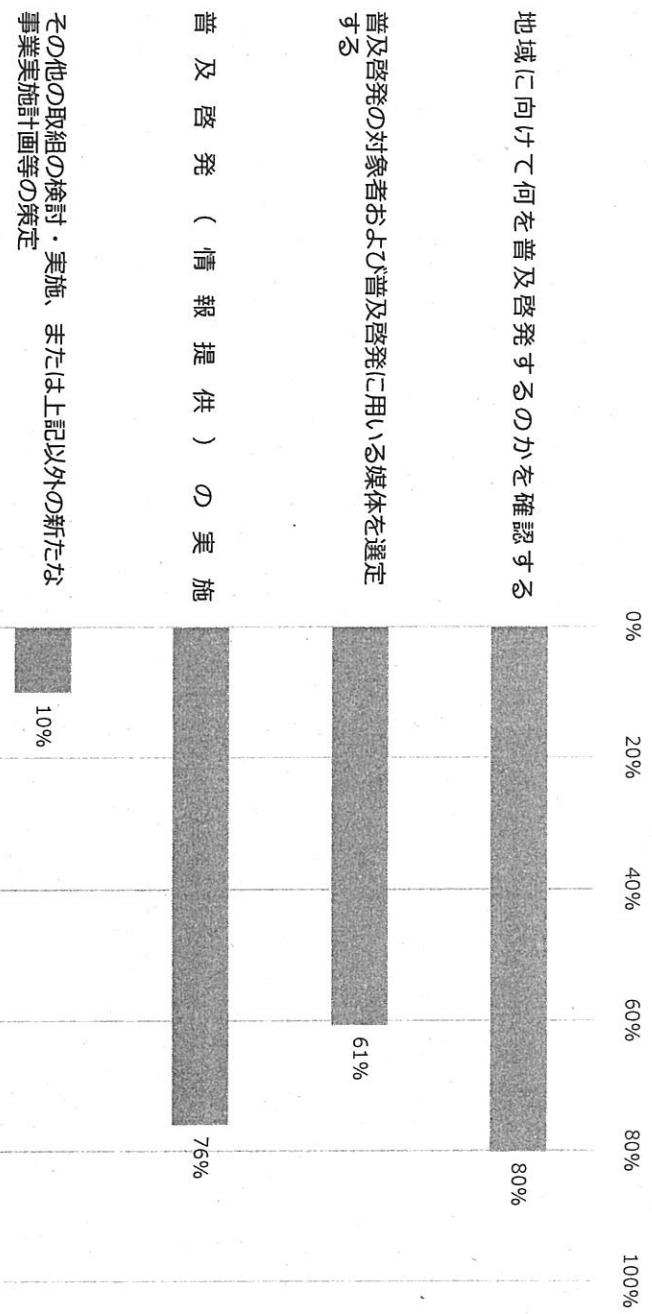
(カ) 医療・介護関係者の研修



出典 地域包括ケアシステムにおける在宅医療・介護連携推進事業のあり方に関する調査研究事業 (速報値)
(平成30年度老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業 野村総合研究所)

在宅医療・介護連携推進事業の事業項目別の進捗状況⑦(n=1,734 複数回答)

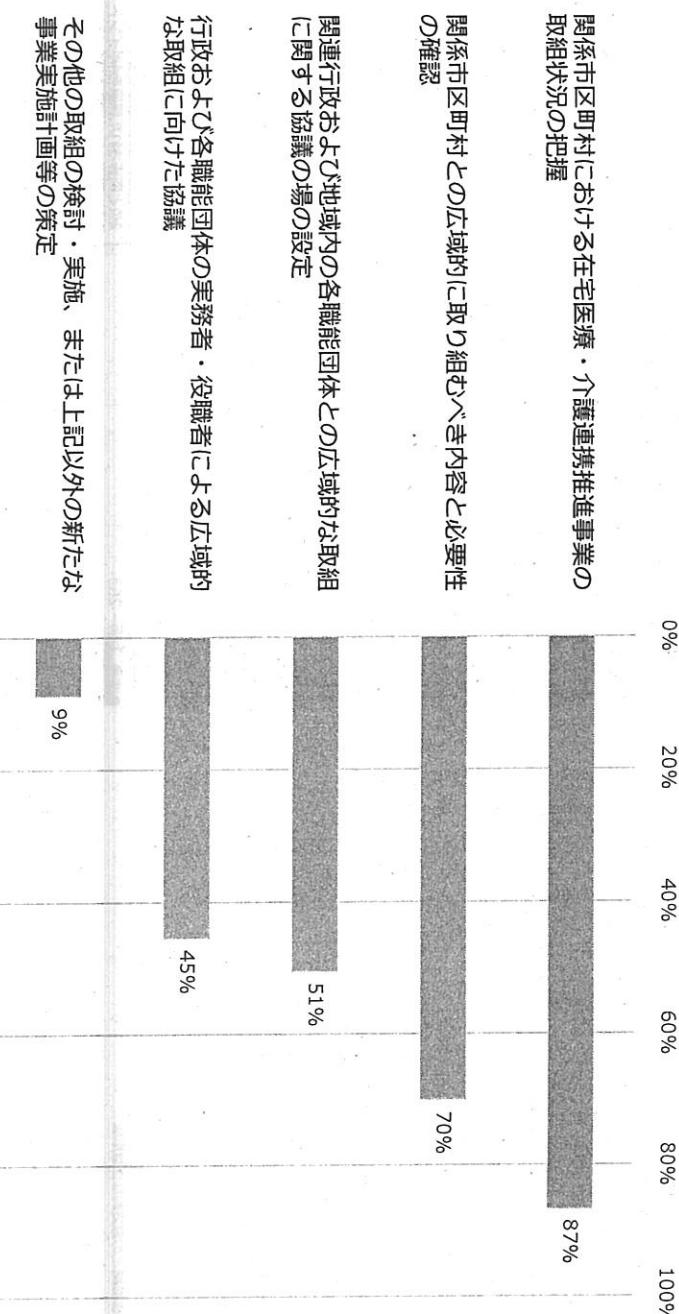
(キ) 地域住民への普及啓発



出典 地域包括ケアシステムにおける在宅医療・介護連携推進事業のあり方に関する調査研究事業（速報値）
 （平成30年度老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業 野村総合研究所） 14

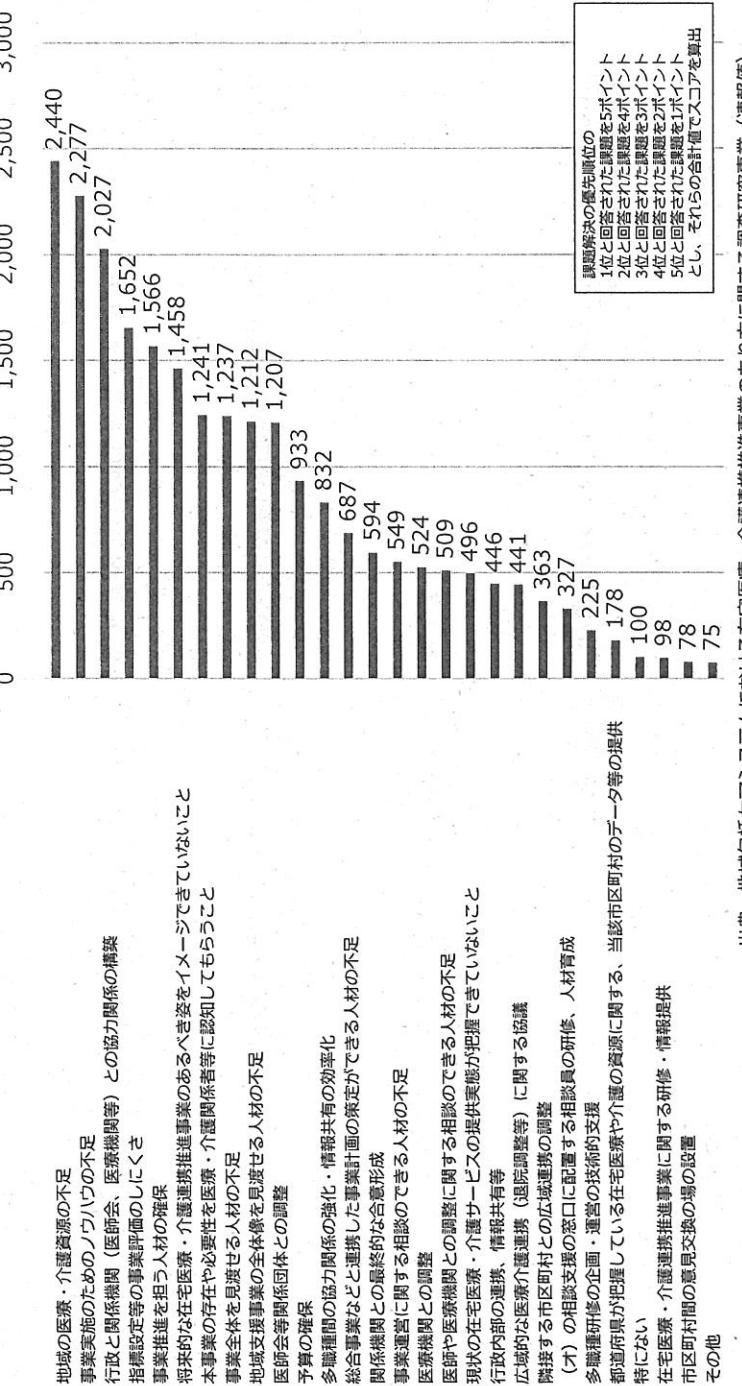
在宅医療・介護連携推進事業の事業項目別の進捗状況⑧(n=1,734 複数回答)

(ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携



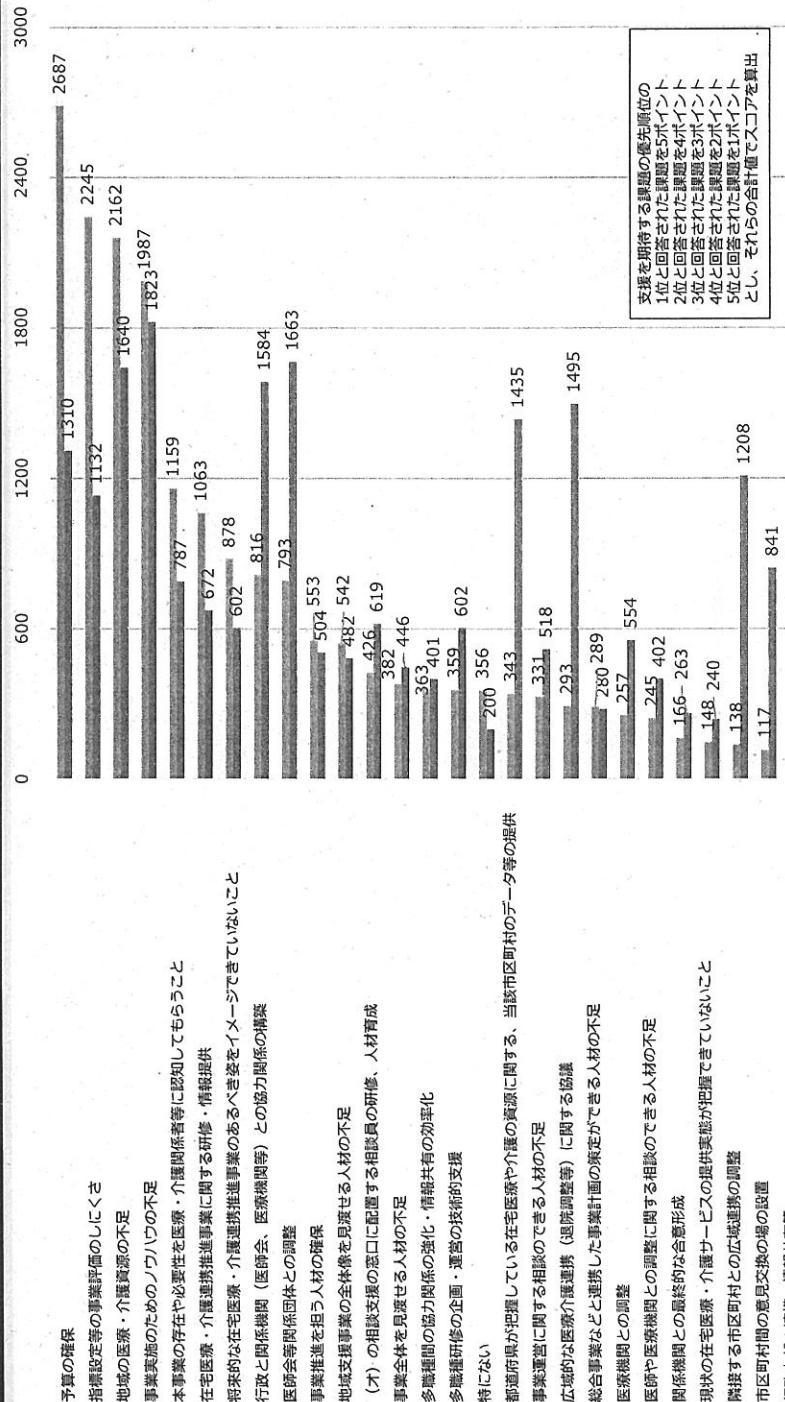
在宅医療・介護連携推進事業の課題(n=1,734 最大5項目優先順位回答)

在宅医療・連携推進事業の課題については、「事業実施のためのノウハウの不足」、「指標設定等の事業評価のしくさ」、「将来的な在宅医療・介護連携推進事業のあるべき姿をイメージできていないこと」等の回答が多かった。



出典 地域包括ケアシステムにおける在宅医療・介護連携推進事業のあり方に関する調査研究事業 (速報値)
(平成30年度老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業 野村総合研究所)

在宅医療・介護連携推進事業において支援を期待する課題(n=1,734 最大5項目優先順位回答)



出典 地域包括ケアシステムにおける在宅医療・介護連携推進事業のあり方に関する調査研究事業 (速報値)
(平成30年度老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業 野村総合研究所)

■ 都道府県に支援を期待する課題

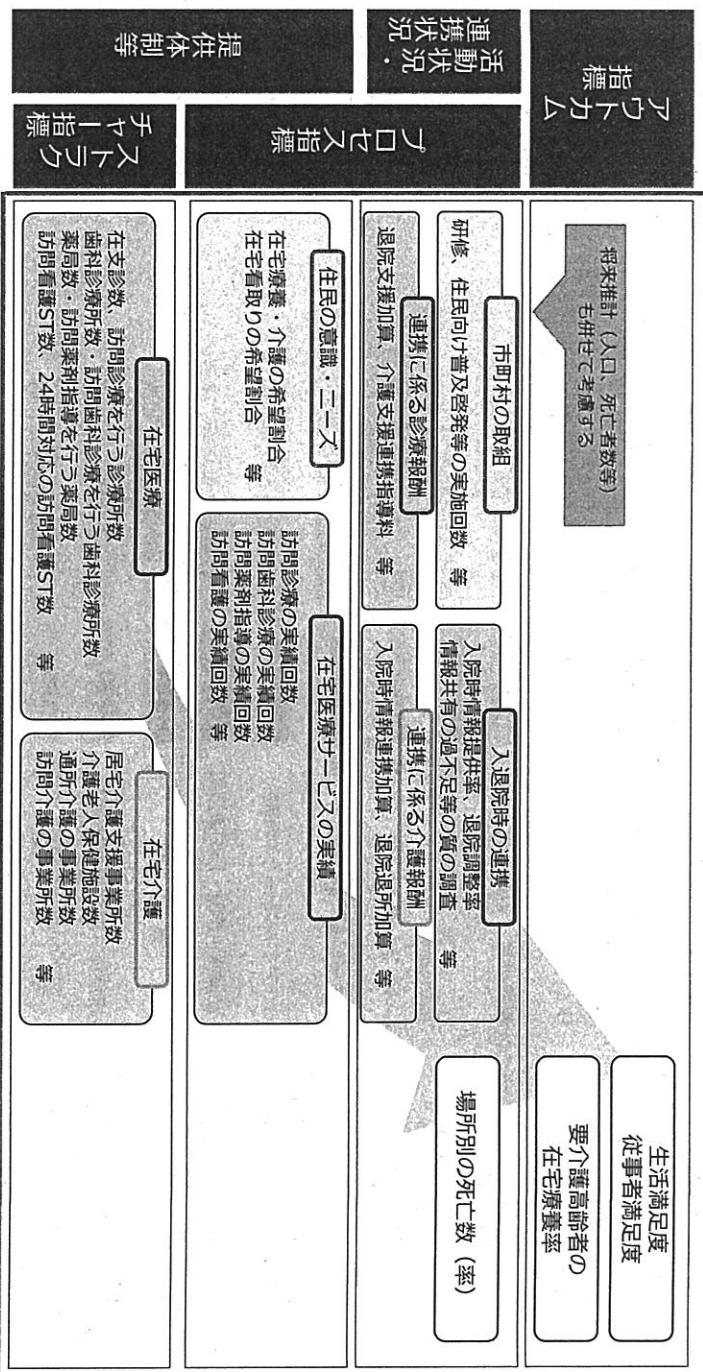
■ 国に支援を期待する課題

出典 地域包括ケアシステムにおける在宅医療・介護連携推進事業のあり方に関する調査研究事業 (速報値)
(平成30年度老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業 野村総合研究所)

23

在宅医療・介護連携推進事業における指標のイメージ

○ 地域の課題や取組に応じて、必要な評価指標を検討、選択することが重要。



※実績値は「後期高齢者1万人人対」など人頭比で把握するようにして、規模の異なる市町間での横比較ができるようにする必要あり

参考) <http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/000061944.html>
出典 地域包括ケアシステムの構築に向けた地域支援事業における在宅医療・介護連携推進事業の実施状況および先進事例等に関する調査研究事業
(平成28年度老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業 野村総合研究所)

在宅医療・介護連携推進事業の評価指標の設定状況①(A : n=514 B : n=1,732 複数回答)

ストラクチャー指標

訪問看護ステーション数 0% 10% 20% 30% 40%

居宅介護支援事業所数 15.3% 19.4%

訪問介護の事業所数 13.0% 18.9%

通所介護の事業所数 12.8% 18.7%

介護老人保健施設数 12.5% 18.6%

訪問診療を行う診療所数 12.0% 18.1%

在宅療養支援診療所数 13.9% 15.9%

訪問薬剤指導を行う薬局数 13.3% 16.9%

訪問歯科診療を行う診療所数 13.2% 17.3%

在宅療養支援病院数 6.7% 12.7% 15.0%

その他 5.3%

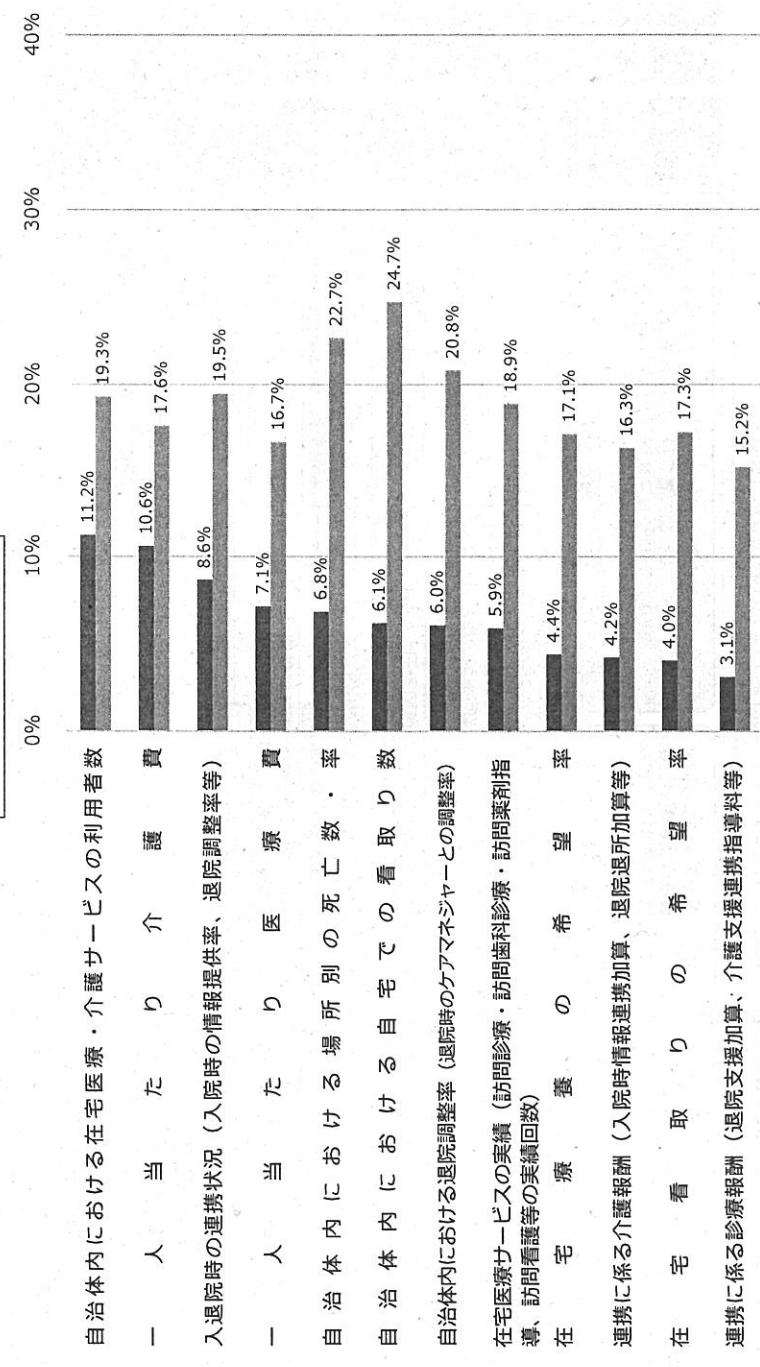
■ A.現在、設定している指標

出典 地域包括ケアシステムにおける在宅医療・介護連携推進事業のあり方にに関する調査研究事業 (速報値)
(平成30年度老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業 野村総合研究所)

■ B.将来的に設定を検討している指標

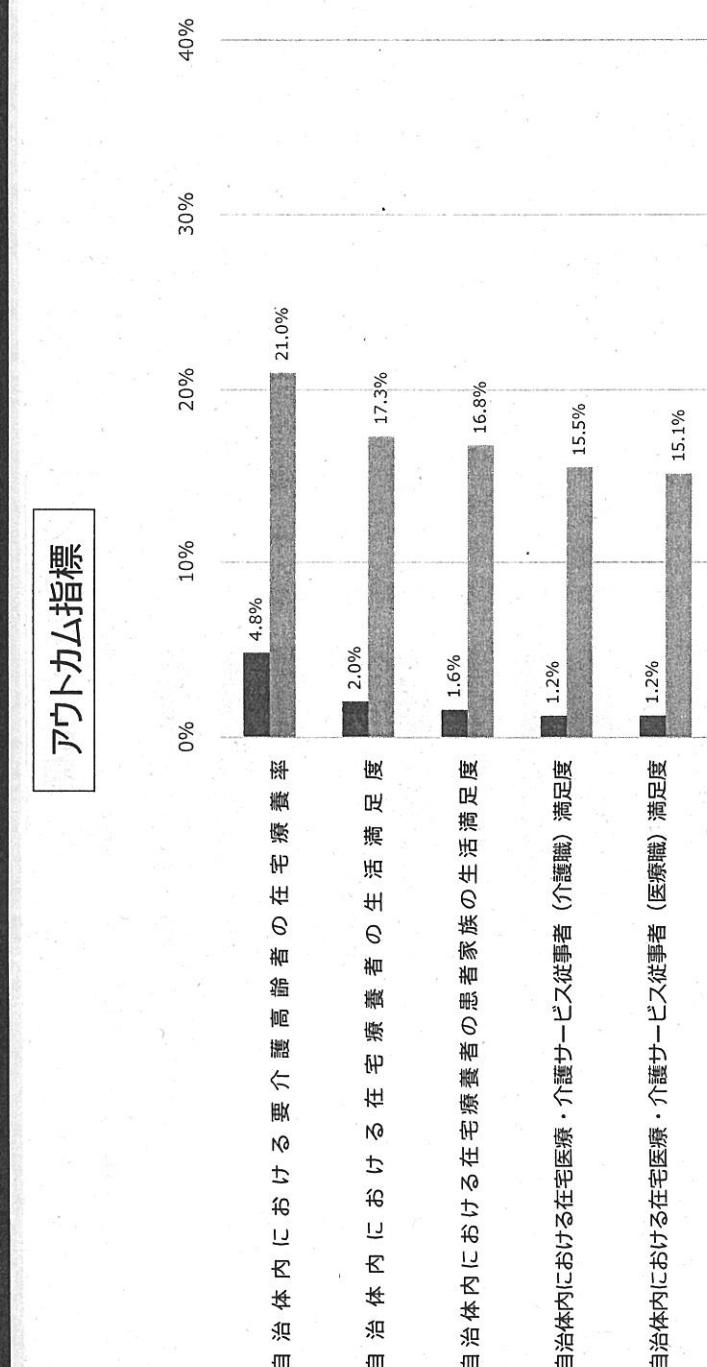
在宅医療・介護連携推進事業の評価指標の設定状況②(A : n=514 B : n=1,732 複数回答)

プロセス指標



出典 地域包括ケアシステムにおける在宅医療・介護連携推進事業のあり方にに関する調査研究事業
(平成30年度老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業 野村総合研究所) 20

アウトカム指標



出典 地域包括ケアシステムにおける在宅医療・介護連携推進事業のあり方にに関する調査研究事業
(平成30年度老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業 野村総合研究所) (速報値)